



平成 27 年 4 月 13 日

各 位

会社名 株式会社石井表記
代表者名 代表取締役 石井 峯夫
(コード番号 6336 東証第2部)
問合せ先 取締役 渡邊 伸樹
管理本部長
(TEL 084-960-1247)

(訂正)「平成 25 年 1 月期 決算短信[日本基準] (連結)」の
一部訂正について

平成 25 年 3 月 22 日に開示いたしました「平成 25 年 1 月期 決算短信[日本基準] (連結)」について、訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正理由

訂正理由につきましては、本日、別途開示いたしました「過年度決算短信等の訂正および平成 27 年 1 月期決算短信の開示が期末後 50 日を超えたことに関するお知らせ」をご参照ください。

2. 訂正内容

訂正箇所には下線を付しております。

<サマリー情報>

(訂正前)

1. 平成 25 年 1 月期の連結業績 (平成 24 年 2 月 1 日～平成 25 年 1 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25 年 1 月期	7,791	△38.0	△15	—	△105	—	812	—
24 年 1 月期	12,565	△26.7	△2,886	—	△2,914	—	△9,856	—

(注) 包括利益 25 年 1 月期 949 百万円 (－%) 24 年 1 月期 △9,918 百万円 (－%)

(中略)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
25 年 1 月期	△1,520	398	1,564	2,198
24 年 1 月期	△419	△628	1,092	1,662

(省略)

(訂正後)

1. 平成 25 年 1 月期の連結業績 (平成 24 年 2 月 1 日～平成 25 年 1 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25 年 1 月期	7,791	△38.0	△14	—	△105	—	812	—
24 年 1 月期	12,565	△26.7	△2,886	—	△2,914	—	△9,856	—

(注) 包括利益 25 年 1 月期 949 百万円 (－%) 24 年 1 月期 △9,918 百万円 (－%)

(中略)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
25 年 1 月期	△1,519	398	1,564	2,198
24 年 1 月期	△419	△628	1,092	1,662

(省略)

<添付資料>

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

① 当期の経営成績

(訂正前)

(省略)

その結果、当連結会計年度の売上高は77億91百万円（前連結会計年度比38.0%減）となり、営業損失は15百万円（前連結会計年度は28億86百万円の営業損失）、経常損失は1億5百万円（前連結会計年度は29億14百万円の経常損失）となったものの、債務免除益を4億43百万円、債務保証損失引当金戻入額を5億30百万円計上したことなどから、当期純利益は8億12百万円（前連結会計年度は98億56百万円の当期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(中略)

【ディスプレイおよび電子部品】

平成20年に遊技機の規制が実施され、パチスロ市場は大幅に縮小いたしました。パチスロ機の人気は徐々に回復し、当社の売上も増加いたしました。

国内需要の不振や中国市場の停滞、円高による価格競争力の低下により、工作機械および産業用機械市場に停滞が見られ、当社スイッチパネルの販売は横ばいとなりました。

その結果、売上高は45億62百万円（前連結会計年度比22.2%増）、営業利益は4億29百万円（前連結会計年度比185.1%増）となりました。

(省略)

(訂正後)

(省略)

その結果、当連結会計年度の売上高は77億91百万円（前連結会計年度比38.0%減）となり、営業損失は14百万円（前連結会計年度は28億86百万円の営業損失）、経常損失は1億5百万円（前連結会計年度は29億14百万円の経常損失）となったものの、債務免除益を4億43百万円、債務保証損失引当金戻入額を5億30百万円計上したことなどから、当期純利益は8億12百万円（前連結会計年度は98億56百万円の当期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(中略)

【ディスプレイおよび電子部品】

平成20年に遊技機の規制が実施され、パチスロ市場は大幅に縮小いたしました。パチスロ機の人気は徐々に回復し、当社の売上も増加いたしました。

国内需要の不振や中国市場の停滞、円高による価格競争力の低下により、工作機械および産業用機械市場に停滞が見られ、当社スイッチパネルの販売は横ばいとなりました。

その結果、売上高は45億62百万円（前連結会計年度比22.2%増）、営業利益は4億29百万円（前連結会計年度比185.4%増）となりました。

(省略)

(2) 財政状態に関する分析

(省略)

② キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

(省略)

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動の結果使用した資金は15億20百万円（前連結会計年度比262.2%増加）となりました。主要な増加要因は税金等調整前当期純利益 8 億20百万円、債務保証先からの入金 5 億30百万円であり、主要な減少要因は仕入債務の減少額 7 億62百万円、保証債務の支払額12億89百万円、規定損害金の支払額 5 億98百万円であります。

(省略)

(訂正後)

(省略)

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動の結果使用した資金は15億19百万円（前連結会計年度比262.1%増加）となりました。主要な増加要因は税金等調整前当期純利益 8 億20百万円、債務保証先からの入金 5 億30百万円であり、主要な減少要因は仕入債務の減少額 7 億62百万円、保証債務の支払額12億89百万円、規定損害金の支払額 5 億98百万円であります。

(省略)

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

(訂正前)

当社グループは、前連結会計年度におきまして、太陽電池ウエーハ事業の大幅な縮小に伴う多額の当期純損失を計上したことにより債務超過となりました。当連結会計年度におきましては、取引金融機関による優先株式の第三者割当増資の実施および債務免除等により債務超過は解消されました。しかしながら、当期純利益の計上は、債務免除益等の特別利益によるところが大きく、営業損益の段階では15,304千円の損失、経常損益の段階では105,025千円の損失を計上しており、本格的な業績の回復を確認できるまでに至っていないことを鑑み、依然として継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しているものと認識しております。

(省略)

(訂正後)

当社グループは、前連結会計年度におきまして、太陽電池ウエーハ事業の大幅な縮小に伴う多額の当期純損失を計上したことにより債務超過となりました。当連結会計年度におきましては、取引金融機関による優先株式の第三者割当増資の実施および債務免除等により債務超過は解消されました。しかしながら、当期純利益の計上は、債務免除益等の特別利益によるところが大きく、営業損益の段階では14,903千円の損失、経常損益の段階では105,025千円の損失を計上しており、本格的な業績の回復を確認できるまでに至っていないことを鑑み、依然として継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しているものと認識しております。

(省略)

4. 連結債務諸表

(1) 連結貸借対照表 (訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当連結会計年度 (平成25年1月31日)
資産の部		
(中略)		
投資その他の資産		
投資有価証券	439,160	270,866
破産更生債権等	1,111,045	1,039,081
長期未収入金	1,402,629	634,770
その他	536,585	201,723
貸倒引当金	△2,835,488	△1,695,207
投資その他の資産合計	653,933	451,234
固定資産合計	6,123,054	5,479,562
資産合計	11,532,173	10,730,776
(省略)		

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当連結会計年度 (平成25年1月31日)
資産の部		
(中略)		
投資その他の資産		
投資有価証券	439,160	270,866
破産更生債権等	1,111,045	1,039,081
長期未収入金	1,402,629	634,770
その他	536,585	202,125
貸倒引当金	△2,835,488	△1,695,608
投資その他の資産合計	653,933	451,234
固定資産合計	6,123,054	5,479,562
資産合計	11,532,173	10,730,776
(省略)		

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

(連結損益計算書)

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	(自 平成23年 2月 1日 至 平成24年 1月31日)		(自 平成24年 2月 1日 至 平成25年 1月31日)	
売上高	12,565,760		7,791,285	
売上原価	11,489,412		5,709,855	
売上総利益	1,076,348		2,081,430	
販売費及び一般管理費				
貸倒引当金繰入額	674,207		△12,671	
給料及び賞与	575,096		517,259	
退職給付引当金繰入額	27,062		34,152	
役員退職慰労引当金繰入額	14,175		—	
減価償却費	191,632		161,954	
販売手数料	84,391		70,696	
試験研究費	1,300,636		417,146	
その他	1,095,854		908,195	
販売費及び一般管理費合計	3,963,057		2,096,735	
営業損失 (△)	△2,886,709		△15,304	
(中略)				
営業外費用				
支払利息	93,092		115,818	
賃貸費用	5,438		4,590	
為替差損	84,975		—	
遅延損害金	—		58,342	
減価償却費	27,905		55,393	
その他	14,245		36,676	
営業外費用合計	225,657		270,822	
経常損失 (△)	△2,914,376		△105,025	
(省略)				

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 平成23年 2月 1日 至 平成24年 1月31日)	(自 平成24年 2月 1日 至 平成25年 1月31日)
売上高	12,565,760	7,791,285
売上原価	11,489,412	5,709,855
売上総利益	1,076,348	2,081,430
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	674,207	△12,671
給料及び賞与	575,096	517,259
退職給付引当金繰入額	27,062	34,152
役員退職慰労引当金繰入額	14,175	—
減価償却費	191,632	161,954
販売手数料	84,391	70,696
試験研究費	1,300,636	417,146
その他	1,095,854	907,794
販売費及び一般管理費合計	3,963,057	2,096,333
営業損失(△)	△2,886,709	△14,903
(中略)		
営業外費用		
支払利息	93,092	115,818
賃貸費用	5,438	4,590
為替差損	84,975	—
遅延損害金	—	58,342
減価償却費	27,905	55,393
貸倒引当金繰入額	—	401
その他	14,245	36,676
営業外費用合計	225,657	271,223
経常損失(△)	△2,914,376	△105,025
(省略)		

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年 2月 1日 至 平成24年 1月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年 2月 1日 至 平成25年 1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失 (△)	△9,116,422	820,776
減価償却費	829,477	471,617
特別退職金	192,144	—
減損損失	141,759	35,343
事業整理損失	6,192,878	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	663,231	<u>2,058</u>
(中略)		
小計	△464,612	<u>82,902</u>
(中略)		
営業活動によるキャッシュ・フロー	△419,629	<u>△1,520,068</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△870,244	△151,872
有形固定資産の売却による収入	1,004	1,829
無形固定資産の取得による支出	△19,402	△3,090
投資有価証券の取得による支出	△77,622	△2,503
投資有価証券の売却による収入	127,581	125,636
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	294,529
貸付金の回収による収入	7,513	3,897
保険積立金の解約による収入	281,515	—
定期預金の預入による支出	△174,000	—
定期預金の払戻による収入	187,501	129,900
その他	△92,398	620
投資活動によるキャッシュ・フロー	△628,552	<u>398,947</u>
(省略)		

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	(自 平成23年 2月 1日 至 平成24年 1月31日)		(自 平成24年 2月 1日 至 平成25年 1月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失 (△)		△9,116,422		820,776
減価償却費		829,477		471,617
特別退職金		192,144		—
減損損失		141,759		35,343
事業整理損失		6,192,878		—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)		663,231		<u>2,459</u>
(中略)				
小計		<u>△464,612</u>		<u>83,303</u>
(中略)				
営業活動によるキャッシュ・フロー		<u>△419,629</u>		<u>△1,519,667</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出		△870,244		△151,872
有形固定資産の売却による収入		1,004		1,829
無形固定資産の取得による支出		△19,402		△3,090
投資有価証券の取得による支出		△77,622		△2,503
投資有価証券の売却による収入		127,581		125,636
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入		—		294,529
貸付けによる支出		<u>—</u>		<u>△401</u>
貸付金の回収による収入		7,513		3,897
保険積立金の解約による収入		281,515		—
定期預金の預入による支出		△174,000		—
定期預金の払戻による収入		187,501		129,900
その他		△92,398		620
投資活動によるキャッシュ・フロー		<u>△628,552</u>		<u>398,545</u>
(省略)				

(5) 継続企業の前提に関する注記

(訂正前)

当社グループは、前連結会計年度におきまして、太陽電池ウェーハ事業の大幅な縮小に伴う多額の当期純損失を計上したことにより債務超過となりました。当連結会計年度におきましては、取引金融機関による優先株式の第三者割当増資の実施および債務免除等により債務超過は解消されました。しかしながら、当期純利益の計上は、債務免除益等の特別利益によるところが大きく、営業損益の段階では 15,304 千円の損失、経常損益の段階では 105,025 千円の損失を計上しており、本格的な業績の回復を確認できるまでに至っていないことを鑑み、依然として継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しているものと認識しております。

(省略)

(訂正後)

当社グループは、前連結会計年度におきまして、太陽電池ウェーハ事業の大幅な縮小に伴う多額の当期純損失を計上したことにより債務超過となりました。当連結会計年度におきましては、取引金融機関による優先株式の第三者割当増資の実施および債務免除等により債務超過は解消されました。しかしながら、当期純利益の計上は、債務免除益等の特別利益によるところが大きく、営業損益の段階では 14,903 千円の損失、経常損益の段階では 105,025 千円の損失を計上しており、本格的な業績の回復を確認できるまでに至っていないことを鑑み、依然として継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しているものと認識しております。

(省略)

(8) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

(訂正前)

(省略)

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

(省略)

当連結会計年度(自 平成 24 年 2 月 1 日 至 平成 25 年 1 月 31 日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	電子機器部 品製造装置	ディスプレ イおよび電 子部品	太陽電池 ウェーハ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,124,659	4,562,671	103,955	7,791,285	—	7,791,285
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,124,659	4,562,671	103,955	7,791,285	—	7,791,285
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△593,698	<u>429,251</u>	149,142	<u>△15,304</u>	—	<u>△15,304</u>
セグメント資産	3,839,837	4,465,370	1,275	8,306,483	2,424,293	10,730,776
その他の項目						
減価償却費	165,828	247,333	—	413,162	—	413,162
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	16,559	132,894	—	149,453	—	149,453

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント資産の調整額は、当社の現金及び預金ならびに投資有価証券等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の合計は、連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3. セグメント負債については、意思決定に使用していないため、記載しておりません。

4. 太陽電池ウェーハのセグメント資産は、当連結会計年度末現在休止中のものを含んでおります。

(訂正後)

(省略)

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

(省略)

当連結会計年度（自 平成 24 年 2 月 1 日 至 平成 25 年 1 月 31 日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	電子機器部 品製造装置	ディスプレ イおよび電 子部品	太陽電池 ウェーハ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,124,659	4,562,671	103,955	7,791,285	—	7,791,285
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,124,659	4,562,671	103,955	7,791,285	—	7,791,285
セグメント利益又はセグメント 損失 (△)	△593,698	<u>429,653</u>	149,142	<u>△14,903</u>	—	<u>△14,903</u>
セグメント資産	3,839,837	4,465,370	1,275	8,306,483	2,424,293	10,730,776
その他の項目						
減価償却費	165,828	247,333	—	413,162	—	413,162
有形固定資産及び無形固定資 産の増加額	16,559	132,894	—	149,453	—	149,453

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント資産の調整額は、当社の現金及び預金ならびに投資有価証券等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の合計は、連結損益計算書の営業損失と一致しております。
3. セグメント負債については、意思決定に使用していないため、記載しておりません。
4. 太陽電池ウェーハのセグメント資産は、当連結会計年度末現在休止中のものを含んでおります。

以上